

プーチンが礼儀正しく、西側の愚かさへの驚きを表明

【訳者注】プーチンの言葉はいつもそうだが、ここでも何の企みもなく自然に質問に応じている。アメリカの政治家の肩を怒らした公言——例えば「プーチンは新しいヒトラーだ」というヒラリーの暴言——と比べてみるべきである。あまりにも違っているので、ごく普通のことを言っているだけのプーチンの言葉が、神の言葉のように聞こえる。一方、シリアの住民からの訴えに「テロリストはサタン的だ」と言っているように、サタンと同じ振る舞いをするとわかっている傭兵を使喚する者は、サタンにほかならない。

Paul Craig Roberts

September 14, 2016, Information Clearing House



ブルームズバーク・ビジネスウィークの John Micklethwait とのインタビューで、プーチンは、ロシアが地理的に影響力を拡大する意欲をもっているのかを訊ねられた。

<https://www.bloomberg.com/features/2016-vladimir-putin-interview/>
<http://russia-insider.com/en/politics/putin-goes-head-head-bloomberg-news-chief-full-interview-video/ri16375>

プーチンは次のように答えた——

「本当に政治にかかわっている冷静な頭をもった人なら、ロシアが例えば、バルト諸国にとって脅威だというような考えは、完全に狂っているとわかるはずです。我々は本当に NATO と戦うつもりかって？ NATO にはどれくらいの間人が住んでいますか？ 6 億人？ でしたか？ ロシアは 1 億 4,600 万人です。そうです、我々は最大の核保有国です。しかし、あなたは本当に、我々が核兵器を使って、バルト諸国を征服しようとしていますか？ どういうキチガイ沙汰ですか？ それが第一点です、しかし決して主要点ではありません。

「主要ポイントは全く違ったものです。我々は非常に豊富な政治的経験をもっています。そ

れによって我々は、人民の意志に反して、どんなこともできないことを深く承知しています。人民の意志に反するどんなことも不可能です。でも我々のパートナーの中には、それを理解していないらしい人たちがいます。彼らがクリミアを思い出すとき、そこに住んでいる人たちの意志がロシアとの併合だったことに、気づかないふりをしています。クリミアでは、住民の 70 パーセントがロシア民族で、その残りも、ロシア語を自分の母国語のように話しています。西側のそういう人たちは、その事実を見ないようにしています。

「ある場所、コソボでは、西側はその人民の意志に訴えました。しかしクリミアでは、そうはいきませんでした。これはすべて政治的なゲームです。だから、安心してもらいたいのですが、ロシアは絶対的に平和な、協調に向けられた外交政策を、これまでも取ってきたし、これからも取ります。

「我々の影響圏を拡大したいかという話ですが、私がモスクワからウラジオストックまで飛ぶのに 9 時間かかりました。これはモスクワからニューヨークまでとほぼ同じで、東西ヨーロッパと大西洋を越えていく距離です。あなたは我々が、もっと拡大すべきだと思いますか？」